

シリーズ
防災安全
No.43

土砂災害ハザードマップの確認をしましょう

近年、短時間に集中的に雨が降ることによる土砂災害や洪水により甚大な被害が出る事態が全国で発生しています。先日も広島県で死者が70人以上となる大規模な土石流が発生しました。

八百津町では、平成23年7月、平成24年7月に土砂災害ハザードマップを各戸に配布させていただいております。

みなさんのご自宅の見やすい場所に今もハザードマップは掲示されていますか？

自宅に無い方は八百津町のホームページ (<http://www.town.yaotsu.lg.jp/top.cfm>) 内の **総合メニュー→防災・気象・救急→防災** より地域ごとのハザードマップを見ることができますのでプリントアウトしてご確認ください。

ホームページを見ることができない方のために建設課に予備がございますので、ご希望の方は役場3階 建設課 (☎ 43-2111) までお問い合わせください。



ハザードマップには土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域が定められ、避難所はもちろん過去の災害箇所や浸水箇所等も記載されています。

いざという時に備え、自宅の場所・避難場所・身近な危険箇所・安全な避難経路等を今一度ハザードマップで見直し、ご家庭で話し合い、ハザードマップは見やすい場所に掲示しておきましょう。

また、避難勧告や避難指示が出ていなくても身の危険を感じたら早めの避難を心がけましょう。

～ 災害時 その判断が 分かれ道 ～

シリーズ
包括支援
No.43

こんにちは 八百津町地域包括支援センターです

～地域の連携が大切です～

高齢化社会が進み、年をとっても安心して生活していけるよう、地域包括ケアシステムを作る事が求められています。地域包括ケアシステムとは、以下の5点があげられます。

①可能な限り住み慣れた地域で暮らせる町作り ②医療力、介護力、福祉力の底上げ ③医療、介護、予防、福祉の連携強化 ④30分以内に駆けつける事ができる ⑤連携する場（地域ケア会議など）を開催する事。

八百津町地域包括支援センターでは8月に講師を招き地域ケア会議研修会をおこないました。町のケアマネジャー、介護保険サービス事業所、民生児童委員、社会福祉協議会、NPOやおつの方々に集まり、目指すべき地域包括ケアシステムと地域ケア会議について学びました。

一人一人の力を合わせることで、地域の高齢者を支えることができます。そのために、今後は地域で生活するみなさんの力が必要となってきます。



<10月 お元気サロンの予定>

・9日、23日(木) お元気サロン八百津 午前9時30分から11時30分まで 場所：福祉センター

<10月 こころの相談の予定>

・20日(月) 高齢者のための「こころの相談」(事前に予約が必要です) 午後からのぞみの丘ホスピタルの精神保健福祉士が個別に対応し秘密は厳守します。

<10月 オレンジサークルの予定>

・20日(月)午後1時30分から 場所:福祉センター テーマ「家族が認知症になった時の関わり方」

<10月 介護巡回相談会の予定>

・1日(水) 午後1時30分～4時(受付午後3時30分まで) 場所：久田見出張所

☆認知症サポーター養成講座申し込み随時受付中



☐お問い合わせ 八百津町地域包括支援センター ☎ 43-3267 または☎ 43-2111 (内線 2566・2567)